

平成28年10月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年3月11日

上場会社名 株式会社ウイルコホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 7831 URL http://www.wellco-corp.com/  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長(氏名) 若林裕紀子  
 問合せ先責任者 (役職名) 財務部部長代理 (氏名) 林岳志 (TEL) 076-277-9831  
 四半期報告書提出予定日 平成28年3月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年10月期第1四半期の連結業績(平成27年11月1日～平成28年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年10月期第1四半期	3,108	△20.7	25	△80.0	16	△87.9	7	△95.2
27年10月期第1四半期	3,921	20.9	129	981.1	139	397.2	164	623.2

(注) 包括利益 28年10月期第1四半期 △96百万円( -%) 27年10月期第1四半期 147百万円( 234.0%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
28年10月期第1四半期	0	32	—	—
27年10月期第1四半期	6	67	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年10月期第1四半期	13,132	—	5,872	—	44.7	—
27年10月期	13,126	—	6,043	—	46.0	—

(参考) 自己資本 28年10月期第1四半期 5,866百万円 27年10月期 6,036百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
27年10月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年10月期	—	0.00	—	3.00	3.00
28年10月期(予想)	—	0.00	—	4.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日(平成28年3月11日)公表いたしました「配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 平成28年10月期の連結業績予想(平成27年11月1日～平成28年10月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期(累計)	7,000	△9.5	180	△23.8	180	△25.5	130	△56.9	5	28
通期	14,500	△2.1	400	35.8	380	18.2	280	△33.5	11	38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	28年10月期 1 Q	24,650,800株	27年10月期	24,650,800株
② 期末自己株式数	28年10月期 1 Q	51,709株	27年10月期	51,709株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	28年10月期 1 Q	24,599,091株	27年10月期 1 Q	24,599,838株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外です。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続を終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載した予想数値は、現在入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 2 ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成27年11月1日～平成28年1月31日)における我が国経済は、2015年10～12月期の国内総生産(GDP)は実質で前期比年率△1.1%と2四半期ぶりにマイナス成長となりました。設備投資は底堅いものの、個人消費の低迷が続く等先行き不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く環境は、日本の総広告費は僅かながら4年連続で増加となっておりますが、インターネット広告が増加傾向にあるのみで、新聞、雑誌、ラジオおよびテレビメディアは軒並み減少が続いております。また、印刷・情報用紙の国内出荷高は前年同月比6.0%減で6ヵ月連続して減少する等、引き続き厳しい状況が続いております。

このような環境の中、情報・印刷事業におきましては、従来型製品の価格競争が益々激しくなる中、当社独自製品を軸に提案営業を推進するとともに、製造部門においては、引き続きコスト削減と提案制度に基づく生産性改善に努めました。

また、メディア事業につきましては、情報誌の発行事業の強化を図るため、多様な情報発信媒体の提供、地域に根差した情報誌という特性を活かした顧客ニーズの掘り起しとともに、平成27年6月に開設した、常設型のモデル・シニア層向け情報発信基地「ぱどあすたいむカウンター」による顧客の拡大に努めました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は3,108,238千円(前年同期比20.7%減)、営業利益は25,899千円(前年同期比80.0%減)、経常利益は16,802千円(前年同期比87.9%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は7,868千円(前年同期比95.2%減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

情報・印刷事業につきましては、当社独自製品の受注は増加しましたが、採算性を基に営業を絞った結果、セグメント売上高は2,710,794千円(前年同期比10.2%減)と減収になりました。また、利益面では売上構成比の変動とコスト削減により利益率の改善に努めましたが、新製品開発のための設備投資による減価償却費増加の影響もあり、セグメント利益は130,785千円(前年同期比38.8%減)となりましたが、現在進めております資本参加を含めた業務提携及び新たな独自製品の販売開始により、第3四半期連結累計期間には、売上と利益の拡大を図ります。

メディア事業につきましては、平成27年10月1日付で郵便物等発送代行事業譲渡の影響(前第1四半期連結累計期間の当該事業の売上高566,120千円)により、セグメント売上高は573,446千円(前年同期比49.7%減)、セグメント利益は10,716千円の損失(前年同期セグメント利益は14,662千円の利益)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は13,132,147千円と、前連結会計年度末に比べて5,167千円増加いたしました。これは主として、受取手形及び売掛金の減少314,707千円、商品及び製品の増加120,504千円、原材料及び貯蔵品の減少67,727千円、有形固定資産の増加280,160千円によるものであります。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は7,259,856千円と、前連結会計年度末に比べて176,029千円増加いたしました。これは主として、支払手形及び買掛金の減少172,651千円、リース債務の増加371,110千円によるものであります。

## (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は5,872,291千円と、前連結会計年度末に比べて170,862千円減少いたしました。これは主として、利益剰余金の減少65,928千円、その他有価証券評価差額金の減少104,086千円によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年10月期第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、去る平成27年12月11日に公表いたしました業績予想に変更はありません。今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更等)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、  
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)  
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を、  
当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第1四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額ははありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年1月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,544,215	3,495,677
受取手形及び売掛金	3,069,833	2,755,125
商品及び製品	86,167	206,672
仕掛品	105,841	92,990
原材料及び貯蔵品	355,543	287,815
繰延税金資産	11,539	4,112
その他	286,620	354,139
貸倒引当金	△26,451	△25,434
流動資産合計	7,433,310	7,171,098
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,178,956	1,157,816
機械装置及び運搬具(純額)	623,163	731,221
土地	2,131,532	2,131,532
その他(純額)	506,620	699,863
有形固定資産合計	4,440,273	4,720,434
無形固定資産		
のれん	50,825	47,279
その他	39,944	39,496
無形固定資産合計	90,770	86,776
投資その他の資産		
投資有価証券	949,416	886,522
繰延税金資産	5,597	6,284
その他	276,886	340,428
貸倒引当金	△69,274	△79,396
投資その他の資産合計	1,162,626	1,153,838
固定資産合計	5,693,670	5,961,049
資産合計	13,126,980	13,132,147

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年1月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,520,253	1,347,602
電子記録債務	1,599,203	1,780,307
短期借入金	434,379	559,369
未払法人税等	40,416	8,583
預り金	98,323	69,323
賞与引当金	104,090	64,066
その他	722,207	654,851
流動負債合計	4,518,873	4,484,104
固定負債		
長期借入金	1,493,748	1,391,979
リース債務	307,189	638,249
退職給付に係る負債	429,798	435,866
繰延税金負債	308,989	284,387
資産除去債務	18,941	18,982
その他	6,286	6,286
固定負債合計	2,564,952	2,775,751
負債合計	7,083,826	7,259,856
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,667,625	1,667,625
資本剰余金	1,759,449	1,759,449
利益剰余金	2,714,745	2,648,817
自己株式	△4,014	△4,014
株主資本合計	6,137,806	6,071,877
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,799	△100,286
為替換算調整勘定	△75,680	△77,852
退職給付に係る調整累計額	△29,395	△27,371
その他の包括利益累計額合計	△101,275	△205,510
非支配株主持分	6,623	5,924
純資産合計	6,043,154	5,872,291
負債純資産合計	13,126,980	13,132,147

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年11月1日 至平成27年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年11月1日 至平成28年1月31日)
売上高	3,921,986	3,108,238
売上原価	3,089,611	2,407,328
売上総利益	832,375	700,910
販売費及び一般管理費	703,144	675,010
営業利益	129,230	25,899
営業外収益		
受取利息	311	379
受取配当金	5,134	4,281
持分法による投資利益	—	2,380
受取賃貸料	6,690	7,286
為替差益	218	—
受取保険金	9,257	—
その他	7,640	5,877
営業外収益合計	29,253	20,204
営業外費用		
支払利息	9,536	14,650
不動産賃貸原価	3,178	3,005
為替差損	—	165
貸倒引当金繰入額	6,100	—
支払手数料	—	11,000
その他	262	480
営業外費用合計	19,077	29,302
経常利益	139,406	16,802
特別利益		
固定資産売却益	164	—
投資有価証券売却益	37,426	583
その他	387	—
特別利益合計	37,978	583
特別損失		
固定資産除却損	273	—
その他	—	24
特別損失合計	273	24
税金等調整前四半期純利益	177,111	17,361
法人税、住民税及び事業税	11,694	3,311
法人税等調整額	1,746	6,702
法人税等合計	13,441	10,013
四半期純利益	163,670	7,347
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△415	△521
親会社株主に帰属する四半期純利益	164,086	7,868

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年11月1日 至平成27年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年11月1日 至平成28年1月31日)
四半期純利益	163,670	7,347
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△26,967	△104,086
為替換算調整勘定	6,705	△2,268
退職給付に係る調整額	4,348	2,023
その他の包括利益合計	△15,913	△104,331
四半期包括利益	147,757	△96,984
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	147,807	△96,366
非支配株主に係る四半期包括利益	△50	△617

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年11月1日至平成27年1月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	情報・印刷事業	メディア事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,859,370	1,062,616	3,921,986	—	3,921,986
セグメント間の内部売上 高又は振替高	159,938	78,294	238,232	△238,232	—
計	3,019,308	1,140,911	4,160,219	△238,232	3,921,986
セグメント利益	213,866	14,662	228,529	△99,298	129,230

(注) 1 セグメント利益の調整額△99,298千円は主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年11月1日至平成28年1月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	情報・印刷事業	メディア事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,537,488	570,750	3,108,238	—	3,108,238
セグメント間の内部売上 高又は振替高	173,305	2,695	176,001	△176,001	—
計	2,710,794	573,446	3,284,240	△176,001	3,108,238
セグメント利益又は損失 (△)	130,785	△10,716	120,069	△94,169	25,899

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△94,169千円は主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。